

# 令和5年度 東区組織目標

<b>組織名</b>	東区	<b>区長</b>	斉藤 淑子
<b>組織の目的・方向性</b>	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数</li> <li>・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合</li> <li>・健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）</li> </ul>		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

## 東区組織目標

東区では、新潟市総合計画 2030 及び東区区ビジョンまちづくり計画に基づき、「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組みます。

この方針のもと、今年度は次の5つの目標に重点的に取り組みます。

### 重点目標

- 1 ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。
- 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 3 民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。
- 4 高齢者の介護予防、認知症予防、フレイルチェックなどに取り組むとともに、「地域の茶の間」など地域住民同士の支え合いのしくみづくりを支援します。
- 5 い〜てらす、わいわいひろば、こども創作活動館などの子育て支援施設の運営を通じこどもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

	<b>重点目標の達成状況</b>	<b>目標数</b>	5	<b>達成数</b>	5
<b>取組結果</b>	1 民間事業者のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、金融機関、東区役所の産学官金連携による実行委員会を立ち上げ「東区オープンファクトリー」を初めて開催しました。また、区内にある県立北高等学校と連携し、高校生を対象にオープンファクトリーの見学ツアーを行うなど多様な主体と連携しながら取り組み、東区の魅力発信に努めました。				

	<p>2 令和3年度から3年間で、東区内すべての避難所を対象に避難所運営ワークショップを実施しました。令和5年度は2コミ協、6か所の避難所を対象に実施し、参加者からは今後の防災訓練や避難所運営に参考になったとの感想が多く聞かれ、区民の防災意識の向上に努めました。</p> <p>3 民生委員協力のもと、75歳以上の高齢者のみ世帯への見守り訪問により個々の状況を把握し、介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげることで地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援しました。</p> <p>4 コミュニティ協議会との協働による介護予防講座を実施し、健康寿命の延伸に取り組みました。また、東区社会福祉協議会と協力し情報交換の場を設け、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。</p> <p>5 子育て支援施設の運営とともに、各種講座を通じて子育て世代同士の交流を促進しながら、育児の不安感や孤独感の解消に努めました。また、情報誌（ままっぷ）の発行や東区こども文化祭、子育て3施設を巡るスタンプラリーを開催し、子育て支援施設の周知を行いました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 「産業観光」の進展に向けて、産学官金連携による「東区オープンファクトリー」の実施を継続支援し、多様な主体と連携しながら「産業のまち東区」の認知度向上と関係人口、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>2 防災講座等を通して、避難所運営体制の強化や、区民の防災意識向上の取り組みを継続します。</p> <p>3 これまでの調査で蓄積した情報を次回の調査に活用しながら、継続して高齢者の見守りを行っていきます。</p> <p>4 健康寿命延伸を目的に、コミュニティ協議会が自主的に取り組む健康づくりや介護予防講座を支援していきます。 また、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。</p> <p>5 事業を通して子育て3施設の連携を強化し、東区の強みである子育て施設の情報・魅力発信や、地域資源の活用、交流人口、定住人口の拡大につなげていきます。</p>